

## 令和 5 年度（2023 年度）

## 斜里町・羅臼町・標津町のヒグマ目撃・対応状況

## 1. 令和 5 年度（2023 年度）のヒグマ目撃件数など

令和 5 年（2023 年）4 月 1 日～同 10 月 31 日分

	斜里町	羅臼町	標津町	合計
目撃件数	1884 (1329) 件	508 (195) 件	82 (73) 件	2,474 (1,597)
対応件数	1058 (672) 件	589 (383) 件	93 (81) 件	1,740 (1,136)
有害捕獲頭数	55 (15) 頭	66 (18) 頭	8 (5) 頭	129 (38)

※ ()内は前年度同期（令和 4 年(2022 年)4 月 1 日～同 10 月 31 日）の数字。  
対応件数には電気柵の維持管理作業等を含む。

## 2. 令和 5 年度（2023 年度）のトピック（2023 年 10 月 31 日時点）

## 1) 斜里町

## ①ヒグマの出没状況

- ・ヒグマの目撃件数は 1993 年以来最も多く、10 月末時点で 1,884 件となった（図 1）。
- ・過去の大量出沒年を大きく超える大量出沒が発生した。10 月末までに 55 頭のヒグマを有害捕獲した。斜里町におけるヒグマの捕獲数は、記録がある上で過去最高値であった。
- ・人の生活圏（市街地や農地）にヒグマが大量に出沒した。農地では、例年よりも早い時期から農作物被害が発生・継続した。ウトロ市街地（ゾーン 4）においても、春先の早い時期からヒグマが市街地に侵入する事例が散見されたが、8 月下旬以降は連日ヒグマが市街地に侵入し、昼夜問わずヒグマが市街地内を徘徊するなど、人身事故が発生しかねない状況が頻発した（写真 1,2）。

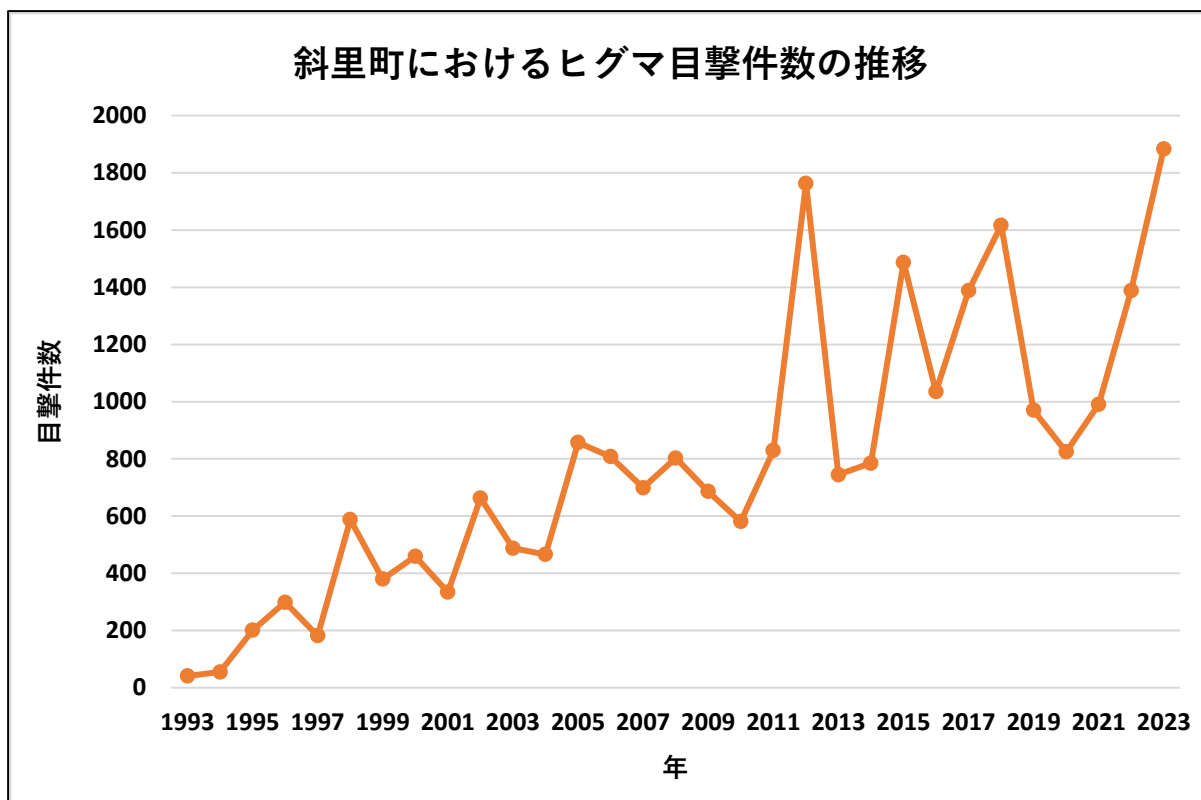


図 1. 斜里町におけるヒグマ目撃件数の推移

※2023 年度は 10 月末まで集計



写真 1. 夜間にウトロ市街地を徘徊するオス成獣サイズのヒグマ (2023 年 10 月 14 日、一般提供)



写真 2. ウトロ漁港に侵入した個体 (2023 年 10 月 26 日)

#### ②特筆すべき問題個体の発生状況および対応状況

- ・ 4 月 21 日に森づくりの道開拓小屋コース付近にて利用者が単独亜成獣～メス成獣サイズのヒグマにストーキングされる事例（行動段階 3）が発生した。利用者がヒグマに気が付いた時点で、ヒグマは利用者のいる方向へ走ってくる場所であった。利用者は声出しをしながらゆっくりと開拓小屋コース方向へと後ずさりをしたが、利用者との距離 2m ほどまでヒグマが接近してきたため、クマスプレーを噴射した。スプレーを噴射した際にヒグマは方向転換したが、その後利用者を再度ストーキングした。

この事例を受けて、開拓小屋コースは 4 月 30 日まで閉鎖し連日自動撮影カメラや踏査による調

査を行ったが、同様の事例は認められなかった。その後、10月末現在まで同様の事例は発生していない。

- ・5月5日、羅臼岳登山道オホーツク展望から50mほど登った地点で、距離3~5mの至近距離で登山者が登山道脇の笹藪にいる単独亜成獣サイズのヒグマと遭遇した。ヒグマは驚いた様子で唸り声をあげ、登山道上に現れた（登山者に接近する形となった）ため、クマスプレーを噴射した。ヒグマにスプレーが命中したと思われるものの、全く逃げる素振りを見せなかったため、登山者は後退して下山した。

また、5月7日にも同一の登山者がオホーツク展望下（標高420m地点）にて単独亜成獣サイズのヒグマと遭遇、50m程離れていたが唸る様子を見せた。その後登山道から外れ見えなくなったという事例が発生した。

これらの事例を受け、関係機関と協議のうえ5月9日より羅臼岳登山道入口（岩尾別温泉）にヒグマの注意喚起看板を設置した。その後、10月末現在まで同様の事例は発生していない。

- ・7月から8月にかけて、幌別地区のフレペの滝遊歩道でヒグマが歩道沿いのヤマグワやアリに定着する状況が確認されたため、長期間の閉鎖措置がとられた。知床五湖の地上遊歩道では8月以降も継続的にヒグマが目撃されている。

- ・9月23日にウトロ東地区の住宅脇の物置がヒグマに破壊され、物置内の果実酒等がヒグマに食害された。その後、電気柵と自動撮影カメラによる現地対策を行ったが、当該個体は出現しなかった。物置はその後撤去された。北大によるDNA解析で新規個体（雄）と判明。その後の行方は不明である。

- ・9月26日にウトロ地区の宿泊施設付近（ゾーン3）でランニングをしていた一般利用者がヒグマに追いかけられる事案が発生した。DNAを採取できていないため、当該個体のその後の行方は不明である。

- ・9月以降、日の出地区の漁港にヒグマが侵入する事例や、近隣で釣り人の釣果を繰り返し奪う事例が発生し、人身事故の危険性が高まったため、9月24日以降は立入禁止措置（立入自粛要請）を行った。その後、同様の状況は確認されていない。

- ・国立公園内でのヒグマへの接近・つきまといは公園法改正後も例年通り発生しているが、改正公園法による行為規制を明示した改定公園管理計画が10月より施行開始。

### ③新たに実施した対策

- ・ 地域企業と協同でウトロ市街地周縁部のササ刈り・草刈りを実施、大量出没を受けて実施範囲を拡大（4年目）。
- ・ ウトロ市街地内で早朝パトロールを連日実施。
- ・ ウトロ市街地内に 10 台以上の自動撮影カメラを設置し、ヒグマの出没状況・侵入経路を把握。
- ・ ウトロ市街地電気柵の延長および既存の電気柵の更新作業（図 2）。
- ・ ウトロ市街地内で見通しの悪い藪の刈り払いを実施。
- ・ 斜里町ではこれまで実施していなかった箱わなを導入。
- ・ ヒグマ大量出没中の注意喚起チラシの製作・配布および SNS 等での情報発信を実施。
- ・ 地域住民を対象とした市街地におけるヒグマの出没状況等に関する説明会を緊急的に実施。
- ・ ヒグマ対策ゴミステーション「とれんべア」4 基を追加設置。



図 2. ウトロ市街地におけるヒグマ対策実施エリア



写真3. ウトロ地区に追加設置したとれんペア  
(2023年11月17日撮影)



写真4. ウトロ学校に追加設置した電気柵  
(2023年9月16日撮影)

## 2) 羅臼町

### ① ヒグマの出没状況

- ・ヒグマの目撃件数は 2007年以来最も多く、10月末時点で508件となった(図3)。
- ・2023年度10月末時点におけるヒグマの人為的死亡数は66頭となった。羅臼町における過去の大量出没年(2012年)の46頭を大きく上回る記録となった。

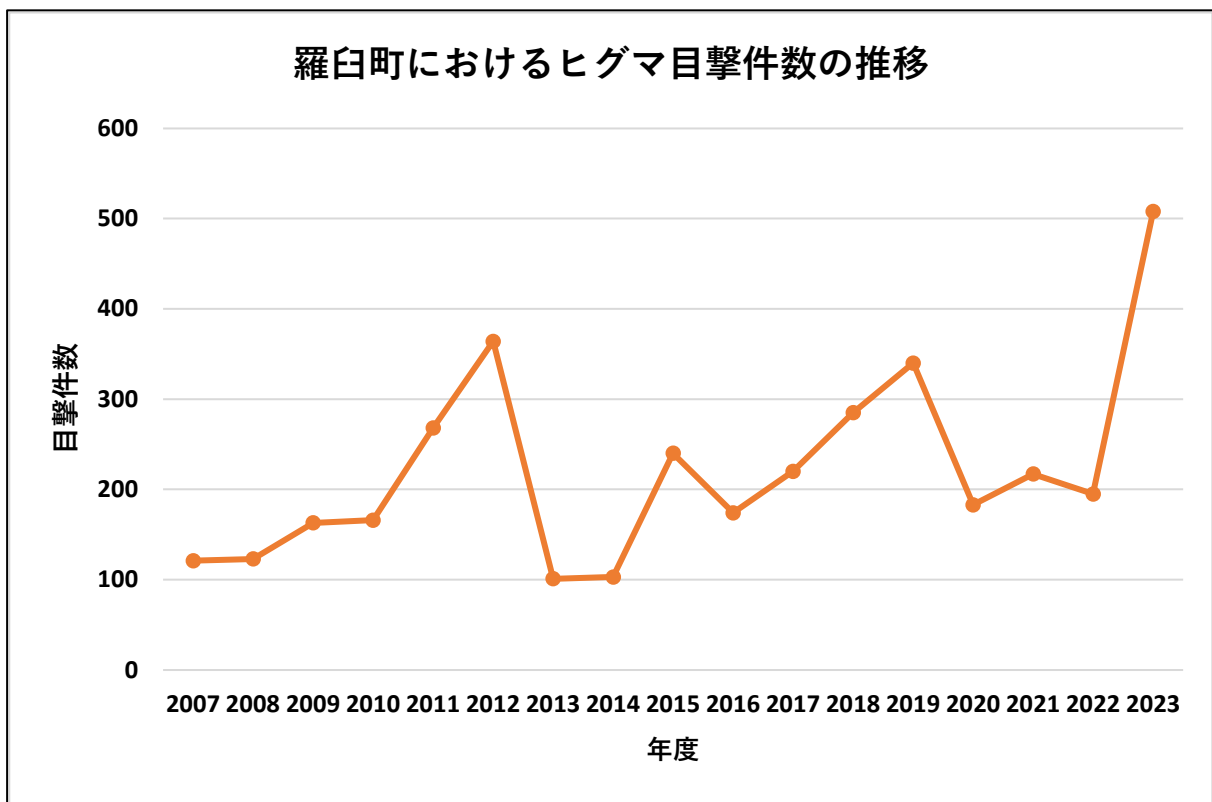


図3. 羅臼町におけるヒグマ目撃件数の推移

※2023年度は10月末まで集計

## ② 特筆すべき問題個体の発生および対応状況

- ・ 7月20日、知床岬の羅臼町側で人に付きまとうヒグマが出現し、7月27日の現場捜索の結果、当該個体を確認し有害捕獲した。
- ・ 9月26日未明、カモイウンベ付近において、漁業者が乗っていた軽トラックが大型のヒグマに攻撃され、ヘッドライトやバンパーを損傷する被害を受けた。
- ・ 9月に羅臼町内各所でヒグマによるごみの被害が複数発生した。いずれの件も老朽化したごみステーションはじめ、屋外に設置されたストッカー（鍵なし）やフレコンバッグ、ポリバケツに入れられていたゴミが被害に遭っており、不適切なゴミの管理が原因であった。
- ・ 10月中旬、特定の水産加工場の残滓に餌付き、夜間に出没を繰り返すヒグマが2頭現れた。これらのヒグマはともに箱わなで捕獲された。また干し魚を狙ったヒグマが倉庫等の屋内に侵入した事案が海岸町と峯浜町で発生した。前者は箱わなで捕獲されたが、後者は10月31日現在、捕獲に至っていない。
- ・ 10月に入り、住宅地内で羅網したシカをヒグマが利用し土饅頭を作った案件が2件発生した。ヒグマはいずれも有害捕獲された。シカが羅網した原因は、防鹿ネットに目の粗い網が使用されていたことであった（写真5）。
- ・ 10月16日に幌萌町で、30日に岬町で車両が走行中にヒグマと接触する事故が2件起きた。幌萌町は23時ごろ水産加工場で残滓の食害があった（⑤の事案）付近の国道上だった。岬町は21時ごろ知円別トンネルを茂瀬川方向に抜けてすぐの道道上でヒグマと接触した（翌朝に有害捕獲）。
- ・ 10月27日 岬町にて深夜に昆布作業のため外に出たところ、暗闇の中にいたヒグマが突進してきたため倉庫に逃げ込むという事案が発生した。
- ・ 各町内会と共同で地元建設会社の協力も得て、主要な場所の草刈りを実施（4年目）。

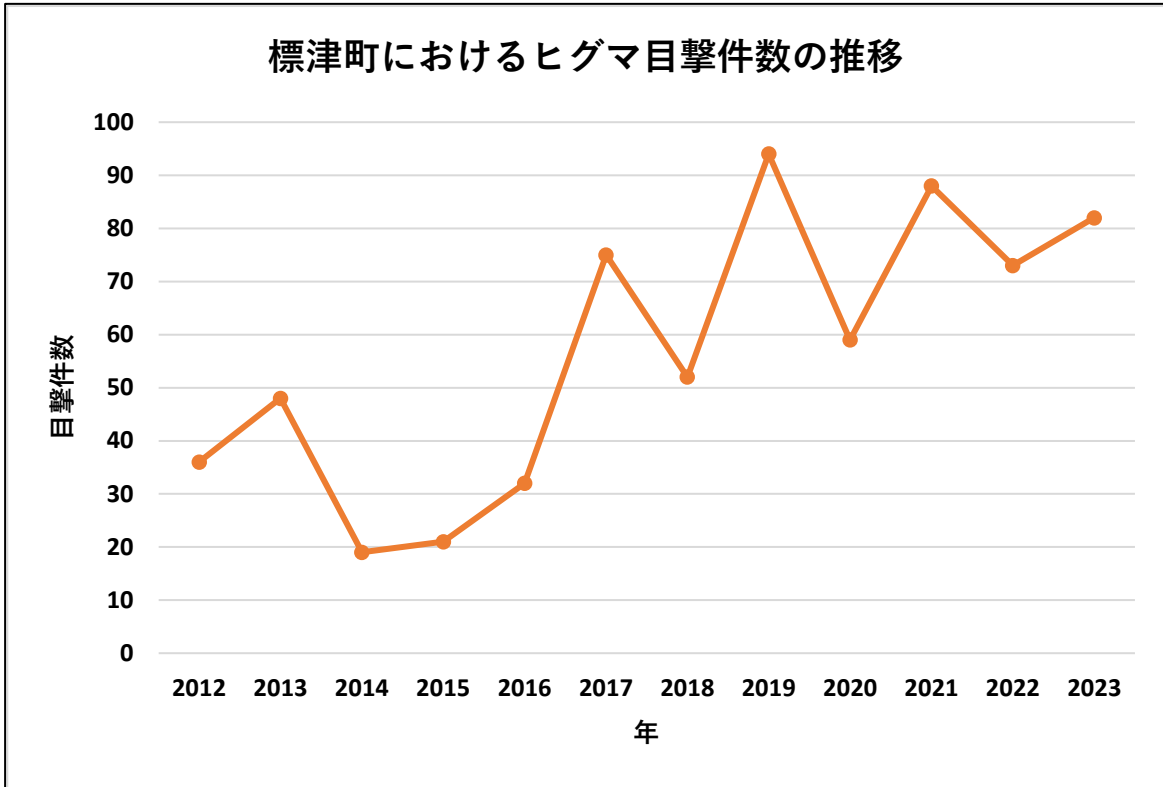


写真5：岬町のコミュニティセンター裏のネット付近で滞留するヒグマ（左）と、そばにあった土饅頭（右）

### 3) 標津町

#### ① ヒグマの出没状況

- ・ヒグマの目撃件数は 2012年以降過去3番目に多く、10月末時点で82件となった(図3)。



※2023年度は10月末まで集計

#### ③ 特筆すべき問題個体の発生および対応状況

- ・6月頃より海岸に漂着した海獣死骸につくヒグマや、人馴れしたヒグマの出没が相次いだ。特に近年増加傾向にある親子連れの出没が目立っている。
- ・川北連合町内会により川北農村公園の林縁整備を実施した。
- ・町内小学校2校へヒグマ講話を実施し、町内中学校2校へ森林学習に合わせてヒグマ学習を実施した。

#### 【知床のヒグマに関する普及啓発・情報発信サイト】



知床のひぐま  
(HP)



BearSafetyShiretoko  
(Facebook)



Bear Safety Shiretoko  
(X : 旧 Twitter)



bear\_safety  
shiretoko  
(Instagram)